

# 日本特殊陶業株式会社 宮之城工場を増設

10月6日、世界でもスーパープラグのトップメーカーである日本特殊陶業株式会社（加藤倫朗代表取締役社長）が鹿児島宮之城工場の増設に伴い、伊藤藤祐一郎鹿児島県知事立ち会いのもと、本町と立地協定を結びました。

日本特殊陶業株式会社は、昭和11年10月、我が国最初のスーパープラグメーカーとして設立され、製品は自動車、オートバイ、航空機、船舶、農林・産業用など幅広い分野において、国内はもとより、世界140数カ国で愛用されています。

鹿児島宮之城工場は国内3番目の工場として昭和49年に従業員92人で操業を開始し、月138万個を生産。以後も年次的に工場の拡充がなされ、現在では従業員583人で月2,400万個を生産し、1工場あたりの生産量は世界一を誇る工場となっています。

今回、工場敷地内の一部を造成し、絶縁体（セラミック）工場を増設することにより、最終的には、絶縁体全部を工場で自給できるようになることから、経営面における合理化とともに生産性の一層の向上が期待され、今後の需要に対しても十分な対応ができる体制が整えられます。

今回の工場増設は、鹿児島県の優秀な人材・労働力の確保などの優れた立地条件、豊かな自然環境に着目され、決定されたものであり、新たな雇用創出はもとより、鹿児島県経済の浮揚に大きく寄与するものと期待されます。



伊藤藤祐一郎鹿児島県知事（中央）立ち会いのもと、立地協定に調印し握手する日本特殊陶業株式会社の加藤倫朗代表取締役社長（左）と井上章三町長（右）

# 日本一早い!! 「たけのこ」初出荷

10月4日、さつま農業協同組合本所で超早堀たけのこの初出荷式が、関係者参加のもと開催されました。

さつま農業協同組合永福喜作組合長は「台風の影響も少なく今年は昨年より1日早い初出荷となり期待しています」とあいさつされました。

井上町長は「日本一早い超早堀たけのこは東京市場で好評を得ていますので、昨年以上の生産を期待しています」と述べられました。

超早堀たけのこは東京市場に空輸され、1キロ当たり4千円前後で取り引きされます。主に高級料亭で刺身や姿煮として食されます。



超早堀たけのこの初出荷を祝う関係者



気持ちを込めたちくりん大鍋には長蛇の列ができました

# ちくりん大鍋無料試食会

10月21日と22日の2日間、鹿児島市のMBCグラウンドで行なわれた「MBCふるさと秋まつり」で、7月県北部豪雨災害応援感謝祭と題して「ちくりん大鍋無料試食会」が行なわれました。

これは、7月の災害時に多くの皆様からいただいた善意や励ましに少しでも御礼ができないかということで、さつま町観光協会が主催し、観光PRを兼ねて行なわれたものです。

2日間とも好天に恵まれ、会場は「イノシシ肉や山太郎がに」が入った珍しい鍋を味わってみようと長蛇の列ができました。

また、当日はこの取り組みをMBCテレビやラジオにも取り上げていただき、さつま町が広くPRされました。会場内でも、観光PRの一環で、観光協会理事を中心に、ハッピーを着て観光パンフレットを配布しました。